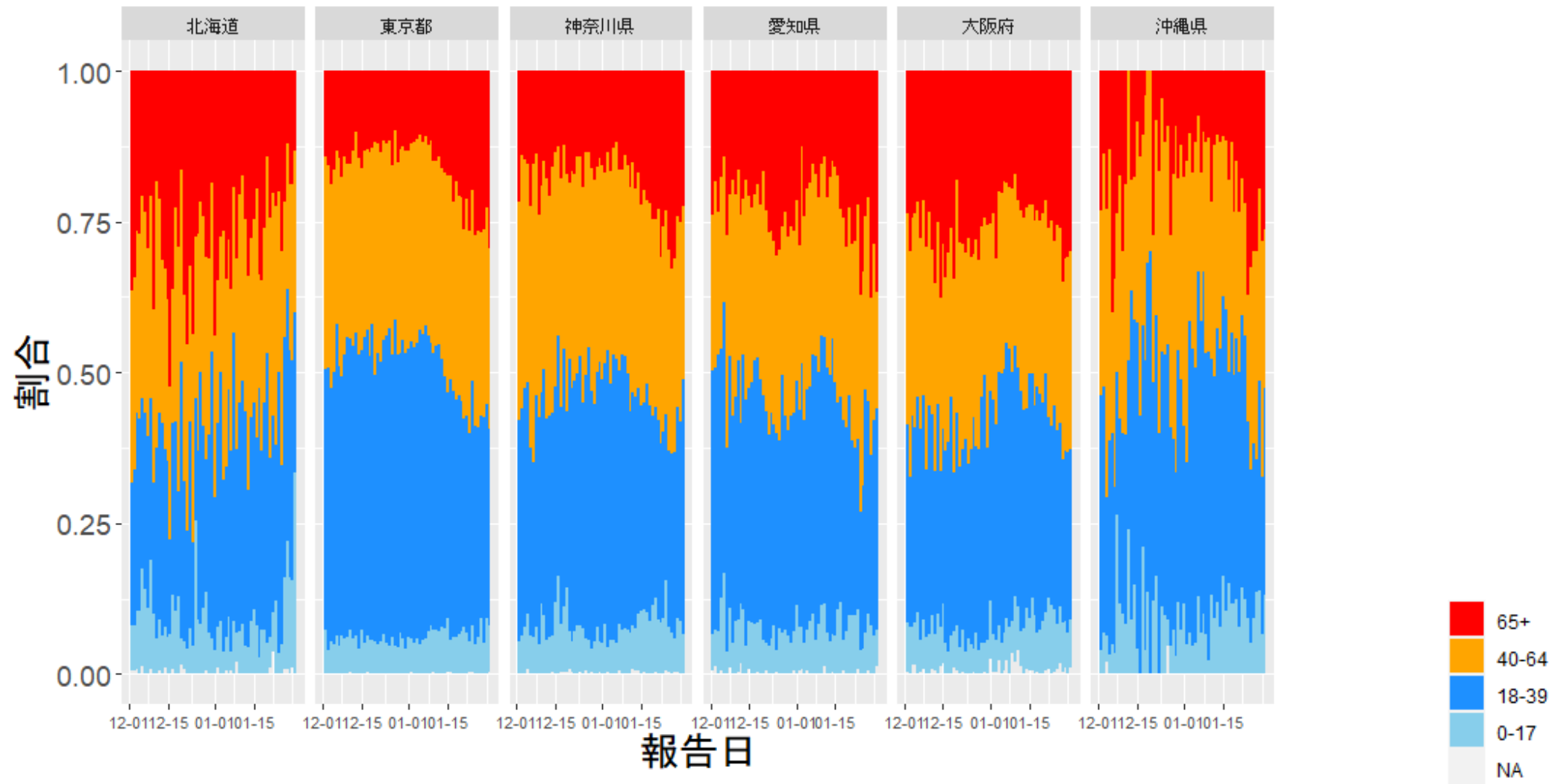
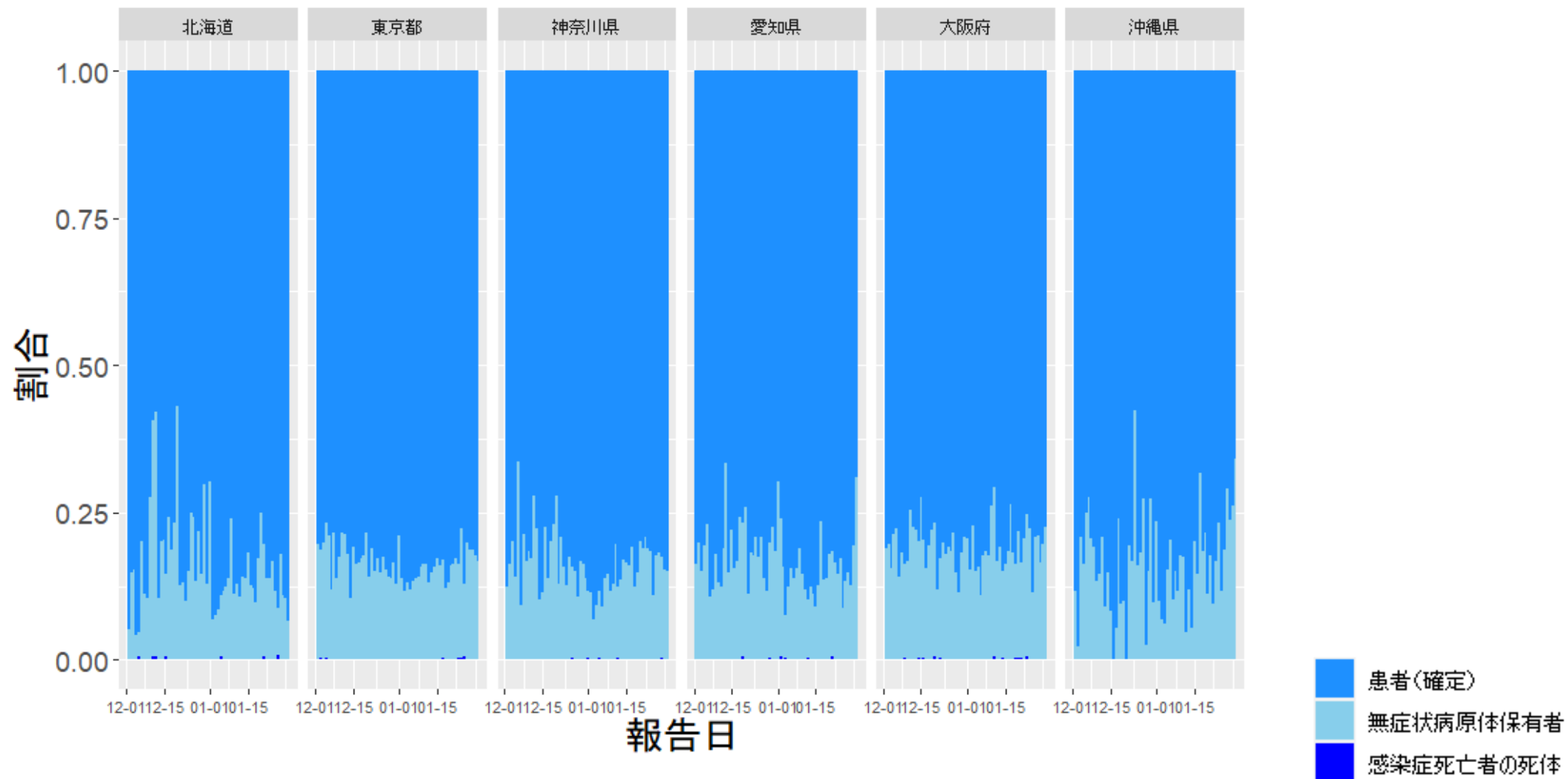


## 年齢群分布の推移：都道府県、報告日別



# 届け出時点の病型分布の推移：都道府県、報告日別

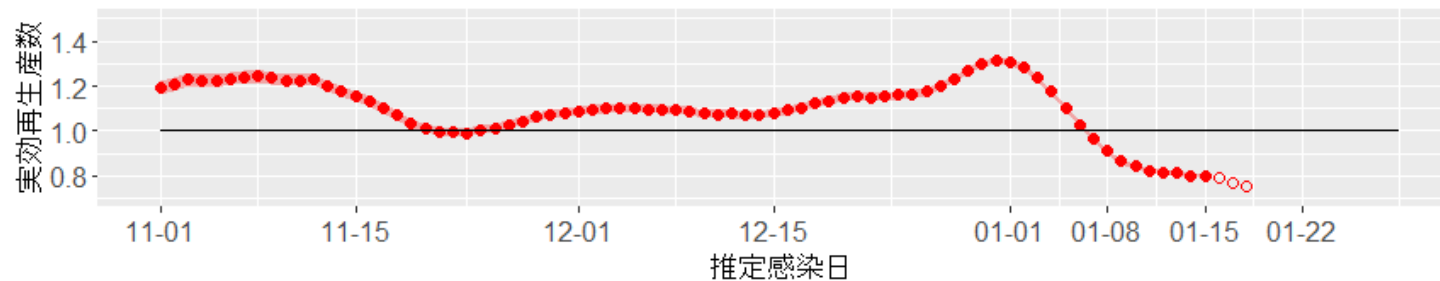


(注) 感染症死亡者の死体：死後に新型コロナウイルス感染症によるものと判断された者

# 全国の実効再生産数（推定感染日毎）：1月31日作成

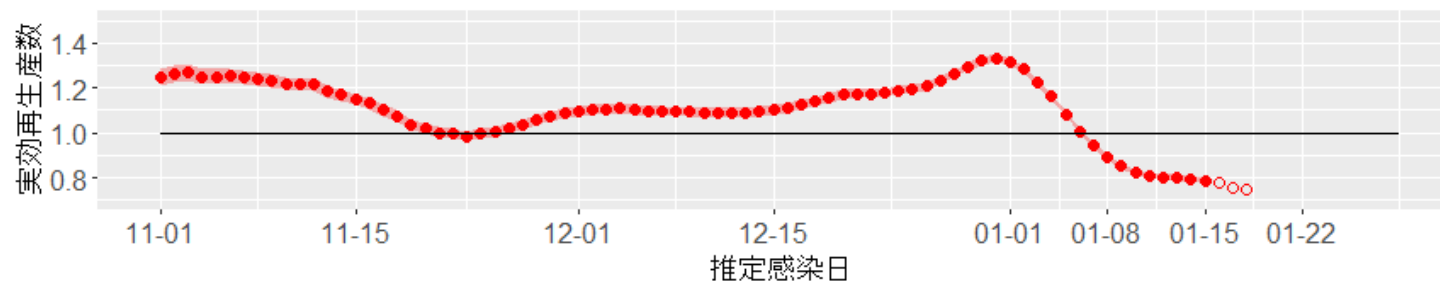
全国

1月15日時点Rt=0.80 (0.79-0.81)



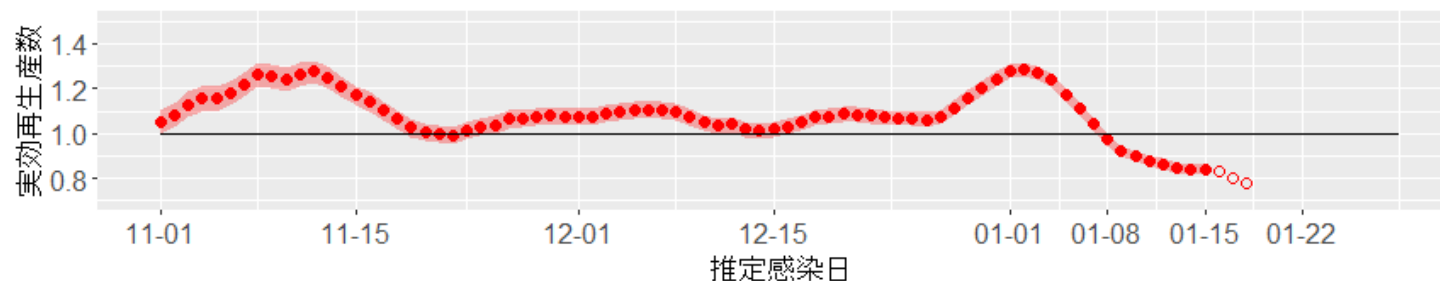
緊急事態宣言対象地域：11都府県

1月15日時点Rt=0.79 (0.78-0.80)



緊急事態宣言非対象地域：45道県

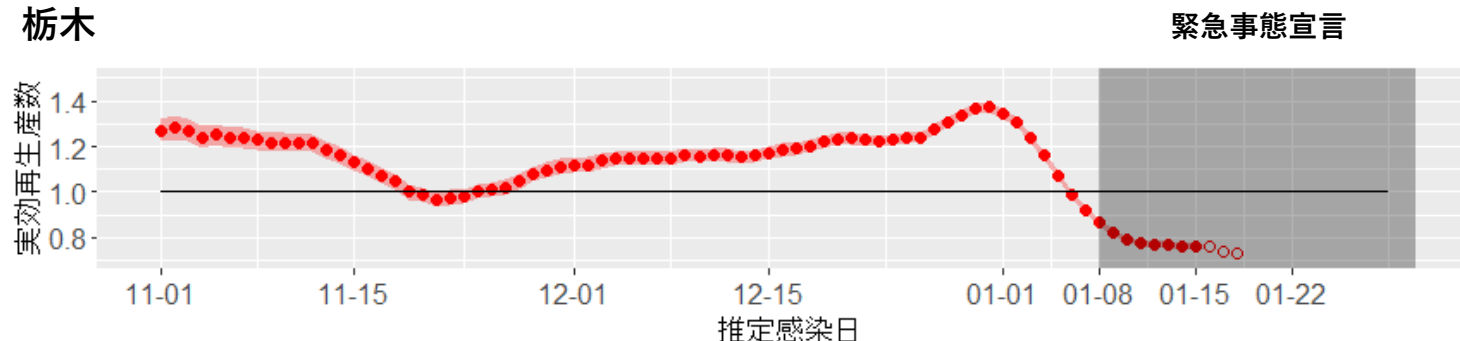
1月15日時点Rt=0.84 (0.81-0.86)



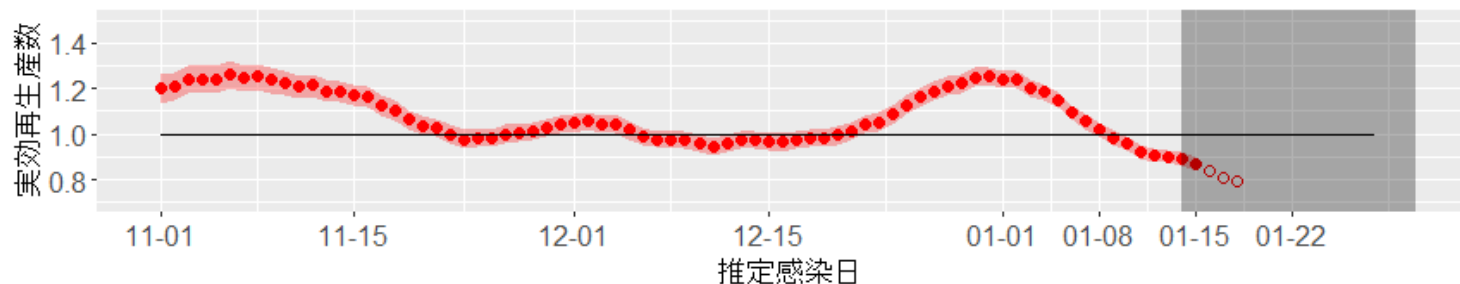
実効再生産数は推定感染日（発症日あるいは発症日不明例については推定発症日から潜伏期間をさかのぼることで推定）ごとにCori et al. AJE 2013の方法でwindow time=7で推定した。16日前までの推定値を赤丸、報告の遅れのために過小推定となっている可能性が高い13日から15日前までの推定値を白丸で表し、それよりも直近の値は表示していない。括弧内の値と図中の赤帯は95%信頼区間を表す。なお、発症日の入力率、公表率は自治体によりばらつきが大きく、また事後的に修正される可能性があるため、値は暫定値である。

# 緊急事態宣言対象地域の実効再生産数（推定感染日毎）：1月31日作成

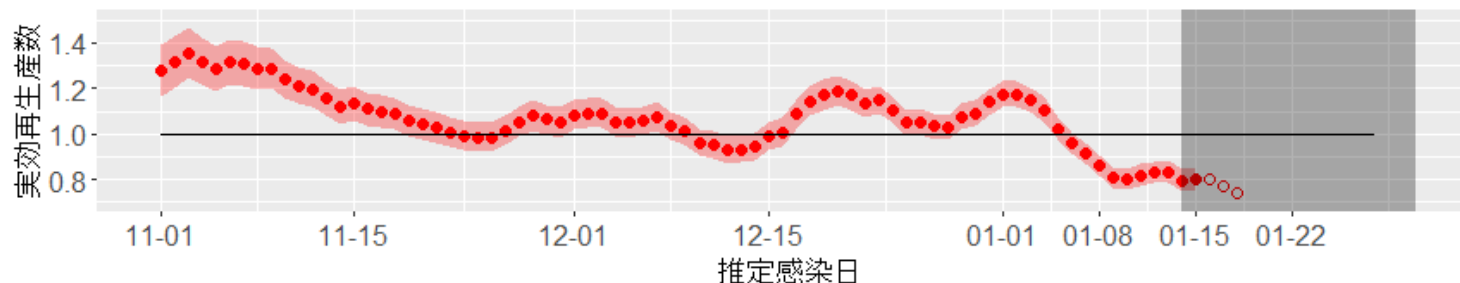
首都圏：東京、神奈川、千葉、埼玉、栃木  
1月15日時点Rt=0.76 (0.75-0.78)



関西圏：大阪、京都、兵庫  
1月15日時点Rt=0.87 (0.84-0.90)

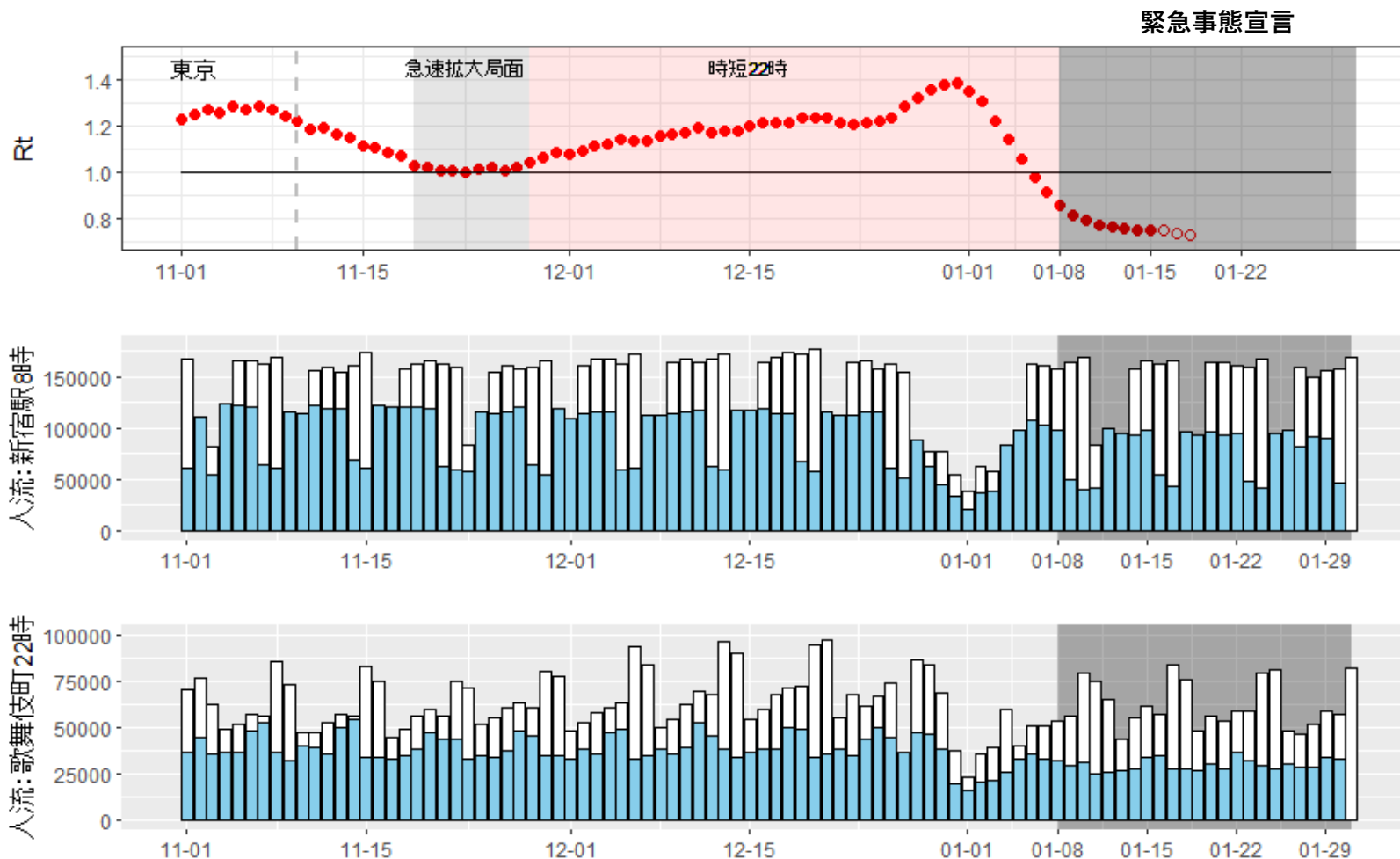


中京圏：愛知、岐阜  
1月15日時点Rt=0.80 (0.75-0.85)



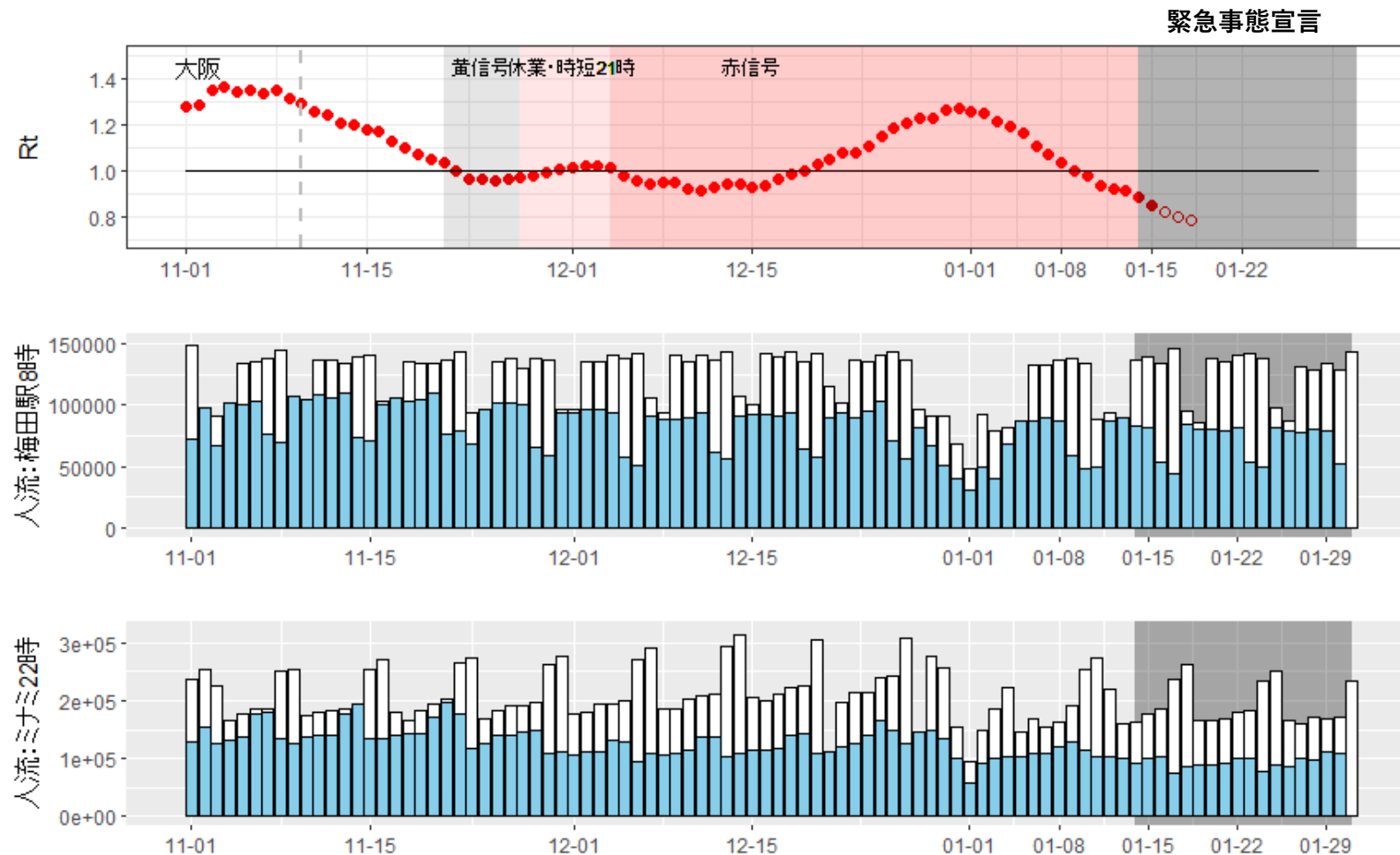
実効再生産数は推定感染日（発症日あるいは発症日不明例については推定発症日から潜伏期間をさかのぼることで推定）ごとにCori et al. AJE 2013の方法でwindow time=7で推定した。16日前までの推定値を赤丸、報告の遅れのために過小推定となっている可能性が高い13日から15日前までの推定値を白丸で表し、それよりも直近の値は表示していない。括弧内の値と図中の赤帯は95%信頼区間を表す。なお、発症日の入力率、公表率は自治体によりばらつきが大きく、また事後的に修正される可能性があるため、値は暫定値である。

# 東京都の実効再生産数（推定感染日毎）と人流



実効再生産数は推定感染日（発症日あるいは発症日不明例については推定発症日から潜伏期間をさかのぼることで推定）ごとにCori et al. AJE 2013の方法でwindow time=7で推定した。16日前までの推定値を赤丸、報告の遅れのために過小推定となっている可能性が高い13日から15日前までの推定値を白丸で表し、それよりも直近の値は表示していない。人流データは株式会社Agoopのものを用いた。

# 大阪府の実効再生産数（推定感染日毎）と人流

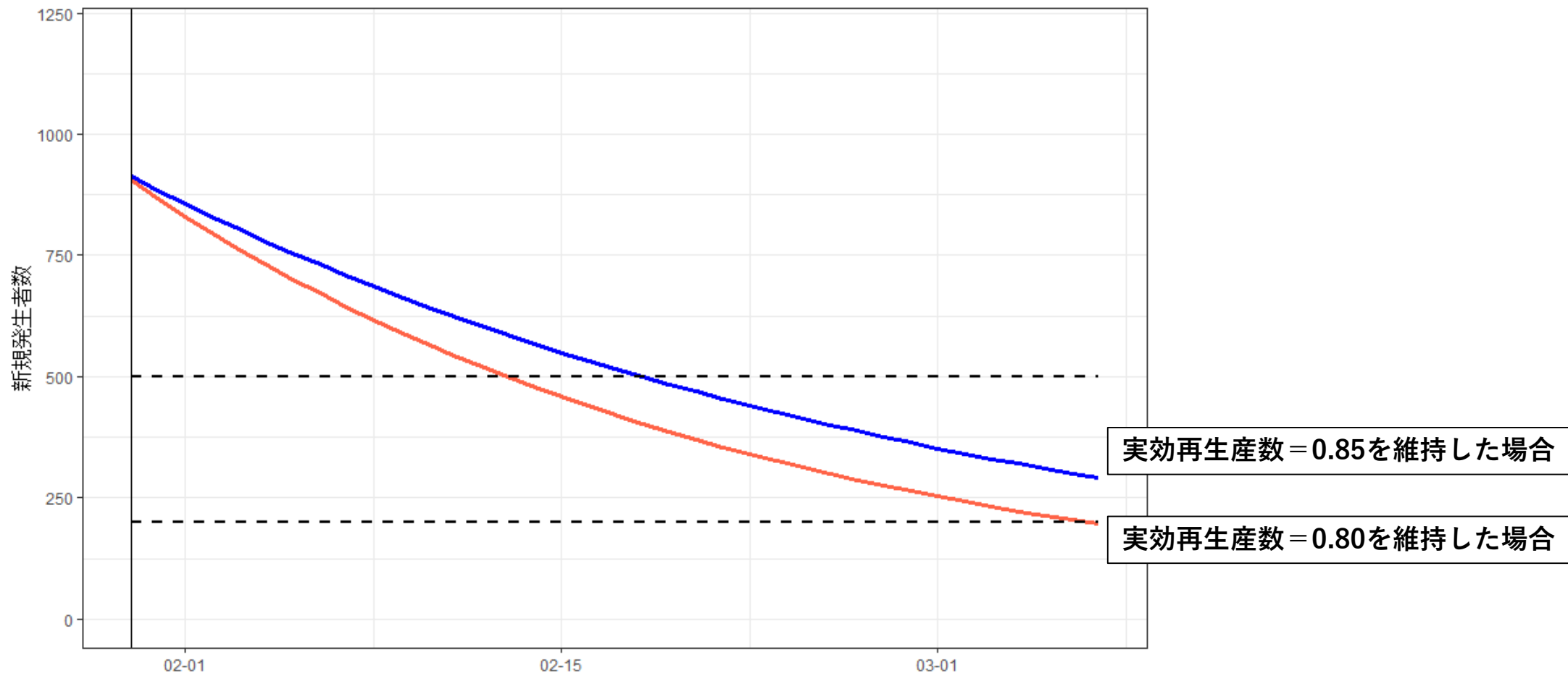


白 = 2019-20年  
赤 = 2020-21年

実効再生産数は推定感染日（発症日あるいは発症日不明例については推定発症日から潜伏期間をさかのぼることで推定）ごとにCori et al. AJE 2013の方法でwindow time=7で推定した。16日前までの推定値を赤丸、報告の遅れのために過小推定となっている可能性が高い13日から15日前までの推定値を白丸で表し、それよりも直近の値は表示していない。人流データは株式会社Agoopのものを用いた。

# シミュレーション：東京都を想定

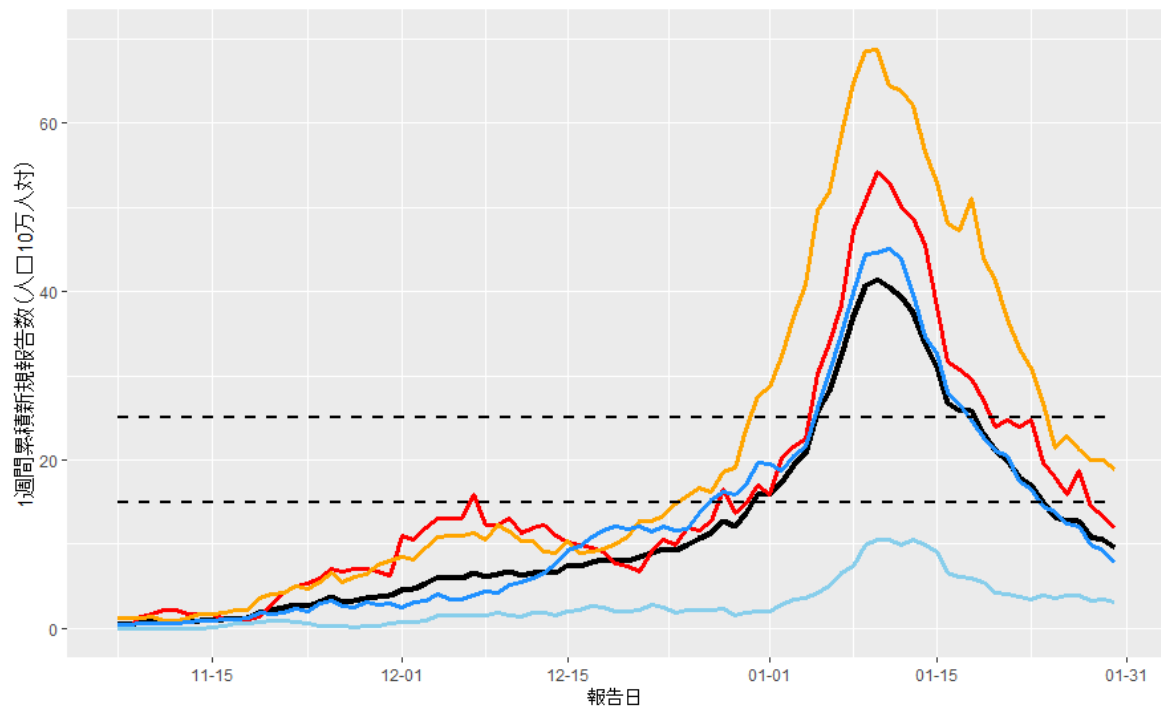
1月30日時点で一日報告数910と仮定



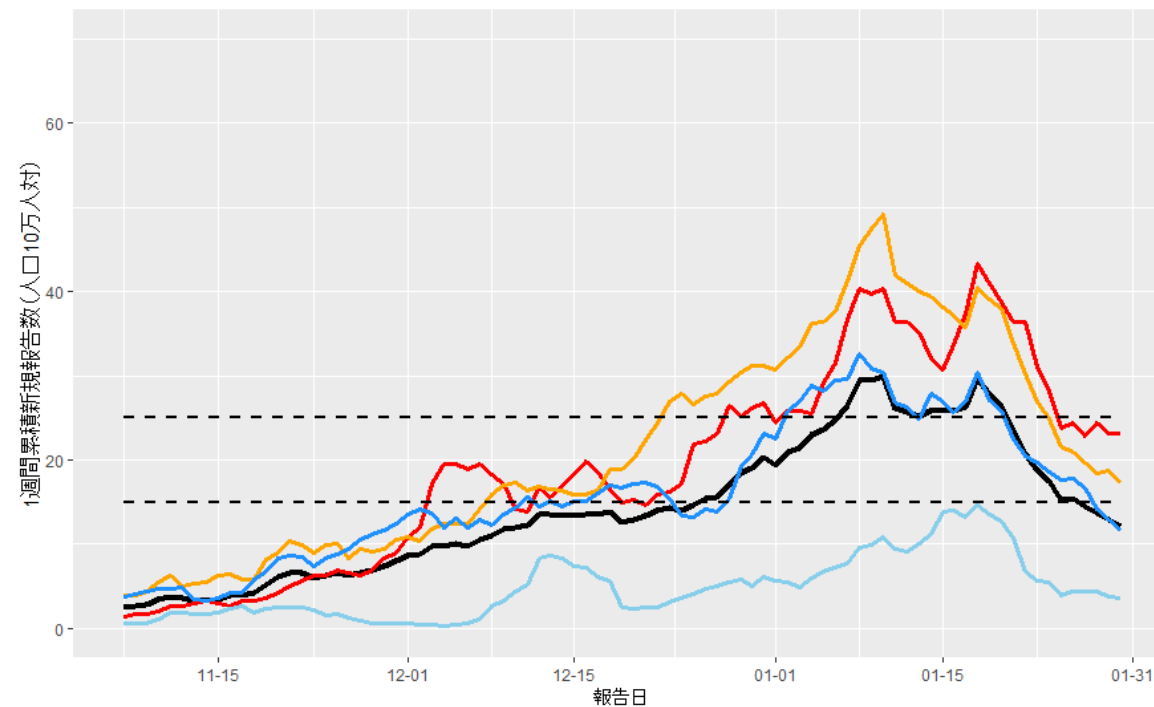
# 1週間累積新規報告数（人口10万人対）の推移：年齢群別

黒 = 全年齢  
赤 = 65歳以上  
橙 = 40-64歳  
青 = 18-39歳  
水色 = 0-17歳

## 栃木県



## 岐阜県





## 直近（2週：1/11~1/17）のインフルエンザ動向

サーベイランス指標（情報源）	レベル	トレンド	コメント
定点当たりのインフルエンザ受診患者報告数（NESID*、約5000定点）	低 (0.01 [患者報告数65例])	微減	47週48例、48週46例、49週63例、50週57例、51週70例、52週69例、53週69例、1週73例、2週65例
全国の医療機関を1週間に受診した推計患者数（NESID*、推計）	低	横ばい	約0.1万人（95%信頼区間：0~0.1万人）
基幹定点からのインフルエンザ入院患者報告数（NESID*、約500定点）	低	微増	47週2例、48週5例、49週3例、50週5例、51週2例、52週6例、53週9例、1週7例、2週8例
病原体定点からのインフルエンザウイルス分離・検出報告数（NESID*、約500の病原体定点）	低	横ばい	1/25現在、36週以降、43~44週に2例（A(H1)pdm09） （データは毎日自動更新）
インフルエンザ様疾患発生報告数（全国の保育所・幼稚園、小学校、中学校、高等学校におけるインフルエンザ様症状の患者による学校欠席者数）	低 （休校0、学年閉鎖0、学級閉鎖0）	横ばい	36週以降、37週に学年閉鎖1、43週に学級閉鎖1（北海道）、44週に学級閉鎖1（福岡県）、45~53週、1週は0、2週は0
国立病院機構におけるインフルエンザ全国感染動向（全国141の国立病院機構各病院による隔週インフルエンザ迅速抗原検査件数、陽性数）	低 （12/16~12/31:検査数3095、陽性数4例）	微増	4例（A型4例）（12月前半はA型2例。11月後半はA型2例。11月前半はA型2例、B型1例。） （検査は、診察医師の判断による）
MLインフルエンザ流行前線情報データベース（主に小児科の有志医師による自主的なインフルエンザ患者報告数 [迅速診断検査]）	低	微増	1/25現在、12月以降、12/2にA型1例、12/18にB型1例、12/25にA型1例、1/4にB型1例、1/9にB型1例、1/18にB型1例。 （データは毎日自動更新）

\*2021年第1週からレベルマップ開始：

[https://nesid4g.mhlw.go.jp/Hasseidoko/Levelmap/flu/new\\_jmap.html](https://nesid4g.mhlw.go.jp/Hasseidoko/Levelmap/flu/new_jmap.html)